

令和3年(2021年)7月21日発行



札幌市立北陽中学校
学校だより

第3号

「多様性と調和」

※2020 オリンピックの基本コンセプトです

生徒指導 相談係

今年も30℃をこえる日が続いていますが、去年の夏は「とても暑かった」、と思いませんか。4月から5月にかけての休校期間の遅れを取り戻すために、8月になっても授業がありました。暑い教室での午前授業によく耐えていましたね。そして、小学6年生は9日間、中学1, 2年生は2週間ほどのあつという間の夏休みでした。今年は例年通り、1ヶ月の夏休みがあります。

みなさん、昨年の休校期間が終わった時のことを思い出してください。1ヶ月半以上登校することができず、学校の仲間に出会うことができませんでした。6月になって久しぶりに登校してきたとき、さらに分散登校が終わって、初めて学級全員がそろったとき、「学校に戻ってきた」という感じがしませんでしたか。

学校は、みんなで学ぶところです。一人ではあきらめてしまいそうなことも、一緒に頑張っている仲間がいると思えば、やり通すことができます。話し合いの中から、一人では思いつかないアイデアが湧いてきます。一人ではできない活動を行うことができます。ただし、自分と他のヒトは「違い」ます。学校は、考え方や感じ方が「違う」ヒトがいるということ学ぶ場でもあります。いつも、自分の意見が通るとは限らないし、自分の考えが変わっていく場合もあります。「違う」けれど「仲間」であり、「違う」から「新しい」ものが生まれます。

夏休み中は、家庭で一人で学びます。それぞれ「違う」場所で、「違う」方法で「違う」ことを学んでいます。自分のペースで、学習を進めることができるし、体調のようすを見ながら活動することもできます。

夏休み明け「違う」経験をした「仲間」が集まって、「新しい」活動が始まります。2学期には(3年生は夏休み中に)旅行的行事があります。昨年は、中止になった陸上競技大会や、学校祭も予定されています。今まで以上に「仲間」を感じる場面が多くなるでしょう。

今年の夏休みは、昨年の休校中の経験を生かして過ごしてください。いきなりの休校ではないので、しっかりと学習や生活の計画を立てているはずですね。また、今年度からタブレットを活用した授業が始まったので、休み中の学習の仕方も違って来るかもしれませんね。

始業式の日、みなさんが元気に(今年もマスク越しですが)、登校してくるのを楽しみにしています。

連絡
☆<重要>就学援助に関する連絡です。現在、就学援助を受けられている方も「10月～」の申請が必要となります。申請書は8/25までですが、夏休みになるため早い申請をお願いします。

おもな行事予定

8月

9月

日	曜	行事	日	曜	行事
17	火	★3年2学期始業式 3h日課 給食なし	1	水	生徒会委員会
18	水	★3年修学旅行 (~20日)	6	月	学校祭準備期間開始
23	月	1,2年2学期始業式 3h日課 給食なし	10	金	諸会議 完下 昼清掃 部活動なし
23(月)~ 25(水)		3年臨時休業	15	水	3年学力テストA
26	木	1年野外学習 2年5h日課 3年3h日課給食なし	17	金	生徒会役員選挙 立会演説会
27	金	2年宿泊学習(~28日)	21	火	5h日課
30	月	2年臨時休業	22	水	開校記念日のため休校
			※修学旅行のため、3年生は8/17(火)が始業式です。		

評価の観点も「三つの柱」で整理

※すべての教科・校種で

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

5

3観点の趣旨を踏まえた「評価」や「テスト」の在り方の見直し(1)

- ◎ 「単元」や「内容のまとまり」ごとの指導計画と評価が重要
- ◎ 適切な時機・適切な方法で評価する
(例) * 教科ごとに「一斉テスト」の時間を設定
* ICT機器(1人1台タブレット)の活用
- ◎ 見通しをもち、計画的に学ぶ力をはぐくむ



6

3観点の趣旨を踏まえた「評価」や「テスト」の在り方の見直し(2)

- ◎ 授業改善を目指した取組・研修を進める
- ◎ 様々な事態に柔軟に対応できる教育計画
- ◎ 教員の業務改善・効率化の一環として
* 先生方が健康的に元気に働き、生徒に寄り添えるために



7

札幌市教育委員会 まほうのかいわ

- 学習習慣
 - 運動習慣
 - 生活習慣
- ま** 学んだことを一緒に振り返りましょう
ほう 方法を一緒に考えましょう
の 伸びを認め、ほめましょう
かい 改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう
わ わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう

8

評価評定に関する説明会について

校長 小松田 靖

5月実施の予定を延期し、7月2日(金)に「評価・評定に関する説明会」を開催しました。全面改訂された学習指導要領の完全実施を背景として評価の在り方を見直したことを中心に説明しました。(左の図5～8は説明会でのスライドを一部抜粋したものです。ホームページにも掲載しています。)

身につけさせたい資質・能力が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の三つの柱として整理されたこと。そして評価の観点もすべての教科で3観点到整理(左図5)されたこと。3観点の趣旨を踏まえ、各教科でより適切な時機に適切な方法で評価するようにしたことが、説明の主旨です。(左図6・7)

200名以上の方にご参加いただき、貴重なご意見・ご質問等をいただきました。特に「定期テスト」という形式から教科ごとの「一斉テスト」となったことに関連して、説明会及びその後に寄せられた主な意見は次のようなものです。

- 5教科同日にテストを行い、総合点等が通知される機会が3年生の学力テスト以外にないのは不安である。
- 各学期の「定期テスト」の日程がなくなると学習のリズムが変わる。各教科の「一斉テスト」実施日時や、どのように評価するのかを早めに詳しく知らせてほしい。

これらの意見を受け、次の2点を今後の主要な検討課題として押さえています。

- ◎ 5教科の定着度や得点力を客観的な指標として分析・活用するための外部テスト等の導入を検討する。
- ◎ 各教科の一斉テスト実施日時は、月ごとの行事予定表に明示する他に、各教科で実施時期や内容について事前に適切な時期に告知するよう検討する。

今後にも創意工夫と研修に努めつつ、この評価・評定の在り方を実施・検証しながら、より適切な評価に取り組み資質・能力を育てていきます。

ホームページには各教科の指導計画や評価資料等も掲載されていますのでご参照ください。「まほうのかいわ」(左図8)も参考に、お子様の「学び」を振り返りつつ励ましてください。

＝ 札幌市教育委員会よりお知らせ～「体罰事故調査委員会」制度について ＝

<体罰事故調査委員会とは?>

- ◎ 当該校以外の校長、PTA関係者及び第三者からなる委員会です。
 - ◎ 体罰事故に関する事実関係をできるだけ正確に、透明性、公平性を確保しつつ調査します。
 - ◎ 調査委員会委員が立会いのもと、教員、生徒及び保護者並びに関係者等から話を聞きます。
- ※本校としましても、体罰をしない・させない学校を目指していきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

<体罰電話相談窓口について ~ 生徒及び保護者からの相談を受け付けています>

TEL 272-6734 平日(土・日・祝日は除く)10:15~16:45